



産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 27 日

茨城県知事 大井川和彦 殿

提出者

住 所 茨城県水戸市元吉田町 1194-26

氏 名 パナソニック ホームズ株式会社

茨城支社 支社長 西田 崇

電話番号 029-246-1231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニック ホームズ株式会社 茨城支社 茨城県内各工事現場（水戸市を除く）
事業場の所在地	茨城県内各所（水戸市を除く）
計画期間	2023 年 4 月 1 日 から 2024 年 3 月 31 日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D 建設業 06 総合工事業
② 事業の規模	2022 年度 総売上高 65 億円
③ 従業員数	88 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p><新築現場> 排出事業場 → 運搬 → 当社集積場 → 運搬 → 処分場 (収運委託) (分別) (収運委託) (処分委託)</p> <p><解体現場> 排出事業場 → 運搬 → 中間処理場 → 運搬 → 最終処分場 (収運委託) (処分委託)</p>

（日本工業規格 A 列 4 番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

茨城支社 建築技術部：部長【産業廃棄物管理総責任者】

—建設推進センター：所長【廃棄物管理責任者】（マニフェスト管理、委託契約管理、法令関係対応管理）

—茨城支店 工事センター：所長【廃棄物管理責任者】（業者指導管理、担当者教育）
：現場監督【産業廃棄物管理担当者】（現場における産業廃棄物管理）—特建支店 工事センター：所長【廃棄物管理責任者】（業者指導管理、担当者教育）
：現場監督【産業廃棄物管理担当者】（現場における産業廃棄物管理）—オーナーサポートセンター：所長【廃棄物管理責任者】（業者指導管理、担当者教育）
：現場監督【産業廃棄物管理担当者】（現場における産業廃棄物管理）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ダンボール、紙、鉄、アルミ、電線、PPバンド、ビニール、ブルーシート、断熱材、木材、石膏ボード、タイル、瓦、外装材、紙付タイル、混合廃棄物
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ダンボール、養生ダンボール、紙、軽天クズ、板金クズ、アルミ、電線、PPバンド、ビニール、木材、厚物瓦、スレート瓦、タイル、紙付タイル、外装材、軒天材、ALC、石膏ボード、ブルーシート、CF、ダクト、硬プラ、発砲・スチレン、人工芝、コーキング、切粉・清掃ゴミ、断熱・耐火被覆材、クロス

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】（水戸市除く）		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） -		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） -		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従った産業廃棄物業者の選定。 ・委託処理施設の定期的な視察。 ・書類確認及び適正処理状況確認。		

(第 5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 処理施設の視察と書類確認及び適正処理状況確認継続。 ・ 優良認定処理業者の選定。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 2022 年度）実績】（水戸市除く）											
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	混合廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有物	
全処理委託量	449.92 t	43.67 t	16.93 t	24.03 t	260.33 t	40.93 t	193.97 t	3.51 t	66.89 t	13.40 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t	1.59 t	1.05 t	0.64 t	140.26 t	0.46 t	77.49 t	1.21 t	3.12 t	0 t	
再生利用業者への処理委託量	449.92 t	43.67 t	2.83 t	24.03 t	231.01 t	40.93 t	193.97 t	3.51 t	66.89 t	0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	8.1 t	0	27.62 t	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【目標】											
産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	混合廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有物	
全処理委託量	440 t	40 t	12 t	22 t	255 t	35 t	190 t	3 t	60 t	10 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t	2 t	2 t	0.6 t	140 t	0.5 t	80 t	2 t	5 t	0 t	
再生利用業者への処理委託量	300 t	30 t	10 t	22 t	245 t	30 t	180 t	4 t	50 t	0 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

①現状	
②計画	

①現状

②計画

(第2面)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

茨城支社 建築技術部：部長【産業廃棄物管理総責任者】

建設推進センター：所長【廃棄物管理責任者】（マニフェスト管理、委託契約管理、法令関係対応管理）

茨城支店 工事センター：所長【廃棄物管理責任者】（業者指導管理、担当者教育）
：現場監督【産業廃棄物管理担当者】（現場における産業廃棄物管理）特建支店 工事センター：所長【廃棄物管理責任者】（業者指導管理、担当者教育）
：現場監督【産業廃棄物管理担当者】（現場における産業廃棄物管理）オーナーサポートセンター：所長【廃棄物管理責任者】（業者指導管理、担当者教育）
：現場監督【産業廃棄物管理担当者】（現場における産業廃棄物管理）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】（水戸市除く）					
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	混合廃棄物
	排出量（t）	449.92 t	43.67 t	16.93 t	24.03 t	260.33 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有物
	排出量（t）	40.93 t	193.97 t	3.51 t	66.89 t	13.40 t
	（これまでに実施した取組） ・新築現場における分別徹底によるゼロエミッションの継続 ・広域認定による再資源化促進 ・余剰部材の活性化 ・部材梱包の簡素化 ・解体現場における分別解体を徹底、再資源化を図る					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	金属くず	混合廃棄物
	排出物（t）	440 t	40 t	12 t	22 t	255 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	石綿含有物
	排出物（t）	35 t	190 t	3.0 t	60 t	10 t
	（今後実施する予定の取組） ・ゼロエミッションの継続（新築現場） ・広域認定による再資源化促進 ・プレカット化部材の種類拡大 ・工場での組立て出荷を増やし余剰部材を削減 ・分別を徹底し更なる廃棄物削減に努める ・リサイクル率の高い業者選定					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ダンボール、紙、鉄、アルミ、電線、PPバンド、ビニール、ブルーシート、断熱材、木材、石膏ボード、タイル、瓦、外装材、紙付タイル、混合廃棄物
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ダンボール、養生ダンボール、紙、軽天くず、板金くず、アルミ、電線、PPバンド、ビニール、木材、厚物瓦、スレート瓦、タイル、紙付タイル、外装材、軒天材、ALC、石膏ボード、ブルーシート、CF、ダクト、硬ブラ、発砲・スチレン、人工芝、コーキング、切粉・清掃ゴミ、断熱・耐火被覆材、クロス